

平成31年1月24日

都内私立中学高等学校
校 長 殿
関 係 教 職 員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会
会 長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 須藤 勉
特別調査研究会委員長 梶取 弘昌
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

東京私学教育研究所 特別調査研究会

『学校づくり研究会「報告会」』のご案内

～20年後の私学を考える～

厳冬の候 貴校益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、特別調査研究会では、下記のとおり『学校づくり研究会「報告会」』を開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

昨今、教育を取り巻く状況はグローバル化やICTの急速な進化をはじめとして加速度的に変化し、加えて私学では少子化問題や公立中高一貫校の台頭など、その環境の厳しさは増しています。そのような状況にあっても、私たち私立学校にとって、建学の精神に根差しながら不易流行をとらえて教育を行うことこそが最も大切なことであるのは言うまでもないことかと存じます。

そこで当研究所 特別調査研究会では、「私学らしい教育とは何か?」「質の高い教育とは何か?」「人を育てることとは何か?」という根源的なテーマにじっくりと取り組む必要があると考え、平成27年4月に本研究会を立ち上げました。その後、現在に至るまで、月一回の例会を基本とし、「20年後の私学の在り方をもとめて」というテーマのもと、各委員が現場で感じていることを共有しながら、時には外部講師を招き、議論や研究を重ねてまいりました。

当日は、基調講演、趣旨説明にて成果の一端をご報告するとともに、当研究会委員による5つのワークショップの展開、懇談の場も設けることで、参加者の皆さまと一緒に教育のあり様、未来、原点について思いを巡らすときになればと考えております。

教育が変換点にある今、『20年後の私学を考える』という視点から、未来を生きる子どもたちに求められる力とそれを伸ばす教育のあり様について、私学の真価について、皆さまとともに議論を深めるよい機会になれば幸甚の至りです。

校務ご多用中とは存じますが、多くの先生方のご参加を得てご意見を賜りたく、下記の通りご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成31年3月16日(土) 16:00～19:30(受付15:30より)

第一部 報告会 16:00～18:00(無料)

第二部 教育懇談会 18:15～19:30(参加費1,000円〈自由参加〉)

2. 会 場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)会議室 ※案内図参照
(千代田区九段北4-2-25 Tel 03-3263-9921)

3. 内 容 『20年後の私学を考える』 プログラム・スケジュール

第一部 報告会

16:00 開会あいさつ

16:10 基調講演『『からだ』から考える20年後の私学』

梶取 弘昌 特別調査研究会委員長 (武蔵高等学校中学校 校長)

16:35 趣旨説明『『からだ』あつての「まなび」である - 学習と身体の関係を問い続けて - 』

武井 秀行 特別調査研究会副委員長 (かえつ有明中学高等学校)

17:10 ワークショップ(特別調査研究会委員)

①多様性を受容する学校のあり方を考える

上崎 雅美 和洋九段女子中学高等学校

私は昨年7月まで米国にて1年間研修をしておりました。滞在先のサンディエゴ市の生涯学習機関で様々な立場、国籍、年齢を超えての学びあい経験をしました。地域の中で学校が様々な人々をつなぐ場として機能している事例をご紹介させていただいた後、東京私立中高における多様性の受容、グローバル教育の在り方について、本ワークショップでは参加される先生方と一緒に考えたいと思います。

②戦争を知らない子どもとの育ち

野口 大輔 東海大学付属高輪台高等学校

子どもたちの未来は複雑性や不確実性に満ちあふれ、専門家たちも正解を持ち合わせない時代です。われわれが20年後の社会を正確に予測することは困難であるため、私学のアルカディア(理想像)を示すことも容易ではありません。そこで、本講座では「こういう未来にすべきだ」を論じるのではなく、「こういう未来にしたい／したくない」という視点から今後の教育において中心的な役割を担う人たちと意見を交換したいと考えています。

③「ハイブリッドな学校」の未来予想図を描こう - 時代に対応する私立学校と教師の役割 -

松本 祐也 岩倉高等学校

ここ最近、未来を見据えた学校の設定や改編が相次いでいます。私は“変える・見つける・つなぐ”という3つの視点で学校マネジメントを捉え直し、新たな学校づくりに向けたビジョンをもとに教育環境を提供する学校を「ハイブリッドな学校」と定義しました。ワークショップでは時代の変化に対応する私立学校と教師の役割を考えながら、「ハイブリッドな学校」の未来予想図を参加者の皆様と描いてみたいと思います。

④「からだ気づき」と学び

武井 秀行 かえつ有明中学高等学校
芦村 紋子 多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校

「からだ」とは、「心身一如」と同義です。自他を取り結ぶ核として「からだ」と「ことば」があります。前半は「からだ気づき」について「さまざまな「からだ気づき」の実践を紹介し、そのいくつかの体験を通して、固定化した私たちの発想をほぐしたいと思います。後半は、もう一つの核である「ことば」に焦点を当て、国語の授業や活動を素材として、「からだ」の変容と「ことば」の関係について、一緒に考える時間にしたいと思います。

⑤学びに向かう力を育てる - コンピテンシーをハカってどうするの!?! -

齋藤 祐 中央大学附属中学高等学校

新しい学習指導要領においてコンピテンシー（資質・能力）は、幼稚園から高等学校まで一貫して育まれるべきものとして位置づけられています。しかし、そもそも「見えない学力」であるコンピテンシーをどうすればハカれるのでしょうか。今回は、スマートフォンで回答できる本校作成のアンケートを紹介しつつ、これからの学校で求められるコンピテンシー評価の可能性についてお話します。教育の原点に立ち戻って一緒に考えましょう。

申込の際、参加を希望するワークショップをお知らせください。なお、各ワークショップには定員がございますのでご希望に添えない場合もございます。何卒ご了承ください。

第二部 教育懇談会

18 : 15～19 : 30

報告会を振り返りながら、参加者、委員、関係者同士での自由な意見・情報交換を行いながら、交流できる会としたいと思います。ドリンク・軽食をご用意してお待ちしておりますので、多くの皆様の参加をお待ちしています。（是非お名刺をご持参下さい。）

4. 定 員 **50名**（申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切らせていただきます）

5. 参加費

第一部 報告会 無 料

第二部 教育懇談会 参加費 1,000 円〈自由参加〉

（飲食代として。その他の費用は当協会会員各校の拠出金と（公財）東京都私学財団からの補助金で運営しております）

6. 申込方法 3月12日(火)までに下記宛 Web もしくは FAX にてお申し込みください。

URL [http:// k.tokyoshigaku.com](http://k.tokyoshigaku.com)

東京私学教育研究所

検索

東京私学教育研究所 特別調査研究会 担当：佐瀬・渡辺

TEL 03-3263-0544 FAX 03-3263-0560




平成30年度 特別調査研究会 委員名簿

	支部・学校名	氏名		支部・学校名	氏名
1	⑩ 武蔵高等学校中学校	梶取 弘昌	9	⑧ 世田谷学園中学高等学校	大石 潤一
2	① 和洋九段女子中学高等学校	上崎 雅美	10	⑩ 自由学園中高等科	更科 幸一
3	② 東海大学付属高輪台高等学校	野口 大輔	11	⑩ 本郷中学高等学校	金子孝太郎
4	⑤ 岩倉高等学校	松本 祐也	12	⑪ 多摩大学附属 聖ヶ丘中学高等学校	芦村 紋子
5	⑥ 聖学院中学高等学校	日野田昌士	13	⑫ 吉祥女子中学高等学校	岸本 斉
6	⑥ 足立学園中学高等学校	原 匠	14	⑫ 聖徳学園中学高等学校	田辺由美子
7	⑥ かえつ有明中学高等学校	武井 秀行	15	⑫ 中央大学附属中学高等学校	齋藤 祐
8	⑥ 関東第一高等学校	川合 智			

《案内図》



■交通のご案内

-  地下鉄 有楽町線・南北線
市ヶ谷駅（1またはA1）出口
-  地下鉄 新宿線
市ヶ谷駅（A4またはA1）出口
-  JR 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅
上記改札・出口から徒歩約2分